

## 社会教育・生涯学習関係職員等研修会【実践編】事業報告

- 1 事業名 令和4年度「社会教育・生涯学習関係職員等研修会【実践編】」
- 2 日時 令和4年9月9日（金） 9：40～16：00
- 3 趣旨 社会教育・生涯学習に係る実践的な知識・技能を身に付け、業務に必要な資質・能力を育むことをとおして、高度化・多様化する地域住民の学習ニーズや社会の要請に応え、社会教育・生涯学習の振興を図る。
- 4 対象 市町村教育委員会職員、社会教育・生涯学習関係職員（公民館職員・家庭教育支援担当職員、地域活動指導員等を含む）、首長部局関係職員等

### 5 研修内容

研修1〈対話型研修〉「いきいきした話し合いがつくる『人・地域・未来』  
～津屋崎や全国の実践から考える～」  
津屋崎ランチLLP代表 山口 覚 氏

研修2〈演習〉「住民の思いをまちづくりに生かすワクワク事業企画づくり！」  
津屋崎ランチLLP代表 山口 覚 氏

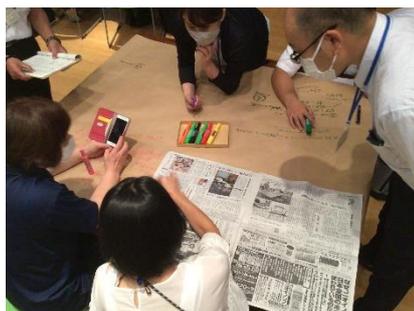
### 6 当日の様子



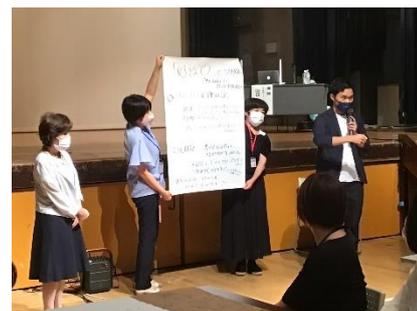
【講話の様子】



【参加者同士の対話の様子】



【事業企画づくりの様子】



【全体の場で事業企画を発表する様子】

本研修では、講話及び対話、グループでの事業企画づくりをとおして、社会教育・生涯学習に係る実践的な知識・技能を身に付け、業務に必要な資質・能力の向上を図ることを目的として研修内容を企画しました。

研修1では、山口氏から色々な実践事例が提供され、その事例について考えたことを参加者同士で対話を行いました。また、研修2では、同じ悩みを持つ参加者同士でグループを作り、対話を行いながら新たな事業企画を作りあげていきました。

参加者からは、「対話と討論の違いがよく分かった」「いろいろなアイデアが出され、あっという間の研修だった」「対話を大切に今後企画を考えていきたい」等の声が聞かれました。参加者は、「未来を語る」「人をほめる」「断定しない」を合言葉に対話を行うことで、色々なアイデアが生まれる事業企画づくりができることを実感していました。